



Use Only In Japan

デ・セントラル熱交換型換気システム

**VENTOsan**®

ヴェントサン

Made in Germany.

# VENTOsan®取扱説明書

## -MZ-One operating instructions-



- このたびはデ・セントラル熱交換換気システム「ヴェントサン」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。



## 目次

**赤字は基本操作、重要項目です。必ずご確認ください。**

0. ヴェントサンとは	
1. 安全上のご注意	1
2. コントローラ MZ-One	3
2-1 .連動制御の確認	3
2-2 コントローラ各部説明と <b>初期設定※最初に必ず行ってください</b>	4
2-3 .操作方法	5
2-4 <b>.基本操作</b>	6
2-5 .ゾーンメニュー	7
2-6 週間タイマーのセッティング	8
2-7 .週間タイマーの詳細設定	9
2-8 .フィルター清掃時期表示	10
2-8-2 <b>.フィルター清掃時期表示の点滅</b>	11
2-9 言語設定	11
2-10 日時設定	12
2-11 .インプット設定	13
2-12 .液晶ディスプレイの明るさと点灯時間設定	14
2-13 詳細な風量設定	14
2-14 湿度制御モードの感知湿度設定と風量設定	15
2-15 .コントローラ情報	17
2-16 累計稼働時間	17
2-17 初期化	17
3. メンテナンス	18
3-1 .安全上のご注意	18
3-2 .カバーの取り外し	19
A. カバーを外す	19
B. フィルターを取り外す	21
C. フィルターの取り付け	22
D. フィルターの洗い方	22
E. 取り換え時期	22
3-3 .ファンの取り外し	23
A. ファンの取り外し	23
B. ファンを取り外す前に	24

3-4 .ファンのクリーニング .....	26
3-5 .蓄熱エレメントのクリーニング .....	26
A. 蓄熱エレメントのクリーニング手順 .....	26
3-6 .クリーニング後の組み立て .....	28
4. アフターサービス .....	30
4-1 .保証要件について .....	30
5. 「故障かな!？」と思ったら .....	30
7. 製品仕様 .....	31

## 0. ヴェントサンとは？

ヴェントサンとは、

ファンが 70 秒ごとに反転することで給排気が切り替わり、蓄熱エレメントに熱を蓄積しながら換気する熱交換換気システムです。室内の温熱環境を保ちつつ、鮮な空気に入れ替えることができます。

### ヴェントサン・運転モードについて（モード変更はP6 参照）

#### ①熱交換モード

ファンが 70 秒ごとに反転することで給排気が切り替わり、蓄熱エレメントに熱を蓄積しながら換気することで熱を逃がしにくく、新鮮な空気に入れ替えることができます。冬季の暖房時、夏季のエアコン使用時などには必ず使用してください。

#### ②換気モード(ナイトパージモード)

一台を排気のみ、もう一台を吸気のみに制御するモード。室内の通風を一方通行にして、熱交換を行いません。夏の夜、春秋など室内が外気よりも暑い際に、素早く室温を下げるためにご使用ください。

#### ③自動凍結防止モード

蓄熱体を通った給気温度が 5℃以下になると、熱交換モードから自動的に切り替わり、蓄熱体の温度を自動的に上昇させるモード。70 秒ごとの給気をストップさせ、約 10 分間排気を行います。蓄熱体の温度が上昇すると自動的に熱交換モードに再度切り替わります。

#### ④自動湿度制御モード

素早く湿度を下げるために、140秒間隔での給排気を繰り返すモード。室内の相対湿度が80%を超えるとセンサーが感知し自動的に切り替わります。1 時間が経過しても湿度の低下がみられない場合、自動的に換気モード(ナイトパージモード)に切り替わります。湿度が設定値以下になると元の運転に戻ります。

---



## 1. 安全上のご注意

必ずお守りください

取扱説明書には、使用者や第三者への危害と財産を未然に防ぎ安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	<p><b>警告</b></p> <p>この項目は、「死亡または重傷または物的損害などを負う可能性が想定される」内容です。</p>
 <p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流 100V を使用してください。 直流や交流 200V を使用すると感電や基板破損の原因となるおそれがあります。</li> <li>● コントローラが浴室など湿気の多い所に据付けられていないか確認してください。 火災・感電の原因となるおそれがあります。</li> <li>● お手入れの際は必ず運転を停止し、分電盤ブレーカーを切ってください。 感電・けがの原因となるおそれがあります。</li> <li>● 異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して分電盤ブレーカーを切ってください。 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因となるおそれがあります。</li> <li>● 外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認してください。 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因となるおそれがあります。</li> <li>● お手入れの際は足元が不安定な台に乗らないでください。 転倒などによりけがの原因となるおそれがあります。</li> </ul>

 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 天井に据付けられていな</li> <li>● いか確認してください(壁面据付専用) 落下によりけがの原因となるおそれがあります。</li> <li>● お手入れの際は手袋を着用してください。 手袋を着用しないとけがの原因となるおそれがあります。</li> <li>● お手入れ後の部品の取付けは確実に行ってください。 落下によりけがの原因となるおそれがあります。</li> <li>● 長期間使用しないときは、必ず分電盤ブレーカーを切ってください。 絶縁劣化により感電・漏電火災の原因となるおそれがあります。</li> <li>● ヴェントサン専用の屋外フードが取付けてあるか確認してください。 雨水の浸入により感電・火災や家財等を濡らす原因となるおそれがあります。</li> <li>● 霧の多く発生する地域や異常に湿度の高い時は、製品から水が滴下するおそれがあります。</li> <li>● 蓄熱エレメントやフィルターを通り抜けて室外側に、一部の粒子や虫等が通過する場合があります。</li> <li>● 高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しないでください。 火災の原因となるおそれがあります。</li> </ul>
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 可燃性ガスが漏れた場合は、ヴェントサンの電源を「入」・「切」しないでください。 電気接点の火花により爆発する原因となるおそれがあります。 窓を開けて換気してください。</li> </ul>
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改造や工具を必要とする分解はしないでください。 火災・感電・けがの原因となるおそれがあります。</li> </ul>
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 火災・感電の原因となるおそれがあります。</li> </ul>
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浴室など湿気の多いところでは使用しないでください。 感電・故障の原因となるおそれがあります。</li> </ul>
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転中は、本体内部でファンが回っているため、物を入れないでください。 けがの原因となるおそれがあります。</li> </ul>

## 2. コントローラ MZ-One

### 2-1. 連動制御の確認

#### A. ファンとの連動確認

MZ-One はクラストエアモジュールと温度湿度センサーが付属されており、換気ユニットと連動して制御されます。最大 4 つのゾーンが設定されています。通電後、正しく各ファンを連動制御されているかチェックする必要があります。

スイッチを入れると、自動で下記の 2 つの初期チェックが始まります。

- ・連動されているゾーン数の確認
- ・ディスプレイの表示の確認

#### 必要事項

全ての換気ユニットとコントローラを施工・設置してください。  
電源につなげてください。

①クラストエアモジュールの連動、②ファンの連動の2種を行う必要があります。

#### 2-1-1 セッティング

##### ① クラストエアモジュールの連動

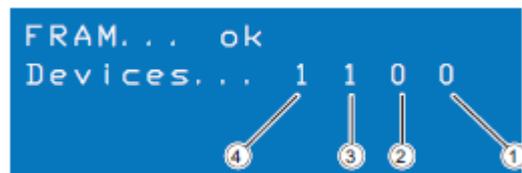
コントローラを稼働させてタッチキー(右)を 5 秒以上長押ししてください。

コントローラが接続されているクラストエアモジュールを探します。

→発見されたモジュールは右図のように示されます。

コントローラが設置したすべてのモジュールを発見したが確認してください。

- ① Zone4    ② Zone3
- ③ Zone2    ④ Zone1



【1】と表示されている場合: 見つかっています。

【0】と表示されている場合: 見つかりません。

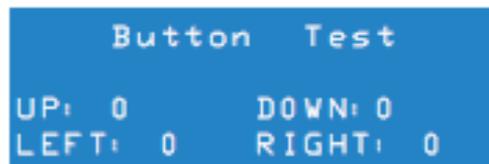
#### 注意

MZ-One がクラストエアモジュールと連動していない場合、ファンは稼働しません。

その場合、初めにクラストエアモジュールのDIPスイッチを確認してください。

(施工要領書P15 参照)

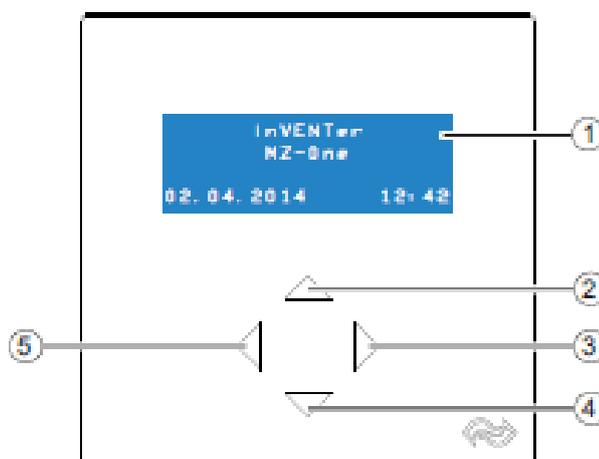
次に、タッチキーの確認を行います。  
→4つのキーを押して、操作が可能か確認してください。



タッチキーが良好に操作できる場合、  
タッチキー(上)を押すとUPの数字が変わります。同様に他のタッチキーも押してください。すべてのタッチキーが良好に操作できるか確認してください

## 2-2コントローラ各部説明と初期セッティング

- ② ディスプレイ
- ③ タッチキー(上)
- ④ タッチキー(右)
- ⑤ タッチキー(下)
- ⑥ タッチキー(左)



### タッチキー

MZ-One の各キーはタッチセンサーになっています。  
タッチキーに触れるとディスプレイが点灯し、操作が可能になります。  
4つのタッチキーで操作が可能です。

## 【初期セッティング※重要】

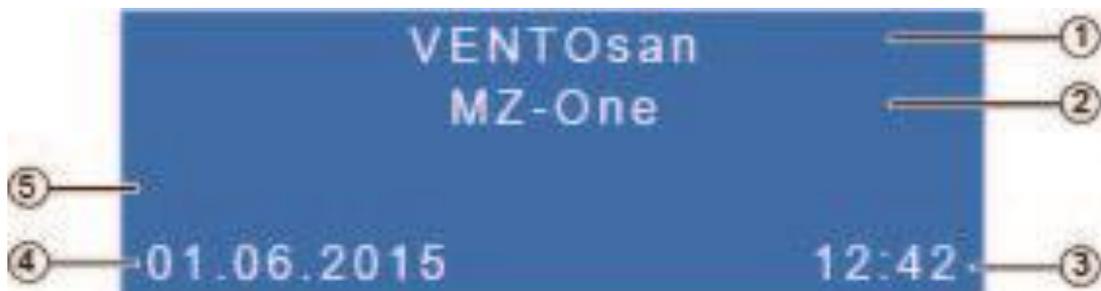
ファンは初期セッティングをしないと動きません。必ず行ってください。

タッチキー(右)を三度押してください。  
設定画面に移行します。  
タッチキー(下)でメニューを  
タッチキー(右)を押して選択してください。

自動的に設置されたモジュールを検索し、  
連動が開始されます。これで設定は完了です。



## 2-3.操作方法

メインスクリーンメインメニュー画面

- ① VENTOsan (ブランドネーム)
- ② MZ-One (コントローラ名)
- ③ 時刻
- ④ 日付
- ⑤ 特記情報がある場合に表示されます。

※画面に触れずに5秒経過すると自動でメインメニュー画面に戻ります。

**基本操作**

画面をメインメニュー（初期画面）にしてください。  
 タッチキー（下）を押してください。  
 タッチキー（右）を順に押して、調整したいゾーンを選択してください。  
 指定のゾーンでタッチキー（下）を押してください。

ウンテン : 風量調整  
 キノウ : 運転モード  
 シゾクジカン : 設定時間



**風量調整**

タッチキー（下）で矢印を移動  
 させてください。  
 ディスプレイの赤丸部分が点滅します。  
 簡単に3段階の調整が可能です。  
 タッチキー（右）を押すと風量アップ、  
 タッチキー（左）を押すと風量ダウンします。  
 右図の場合、最大風量になっています。



**運転モード設定**

タッチキー（下）でモードに矢印を移動させ、  
 タッチキー（右）を押すと運転モード設定が  
 出来ます。

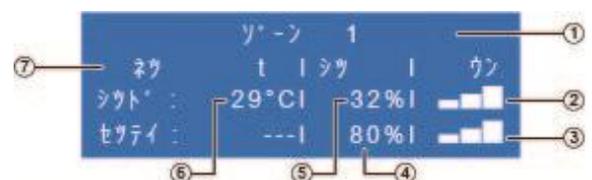


ネット : 熱交換モード  
 カンキ: 換気モード(ナイトパーズ)  
 OFF : ファン停止

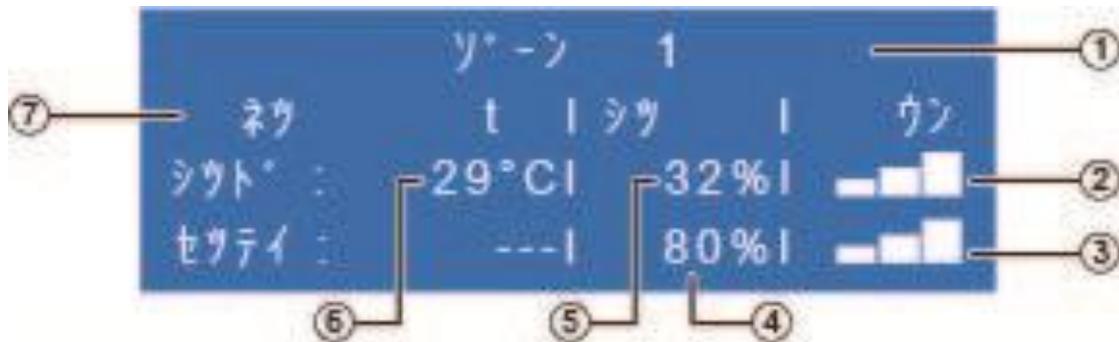


**持続時間設定** タッチキー（下）を押してシゾクジカンに合わせてタッチキー左右を押すと、設定した  
 時間だけ一時的に風量変更できます。時間が経過後は前回0h設定した運転モードに戻ります。  
**シゾクジカンを0hに設定すれば、常に設定した運転モードを繰り返します。**

現在の運転状況は右図⑦の箇所にも明示されます。  
 右ではネットとなっていますが、持続時間設定されている  
 場合は、点滅し設定の持続時間も明示されます。

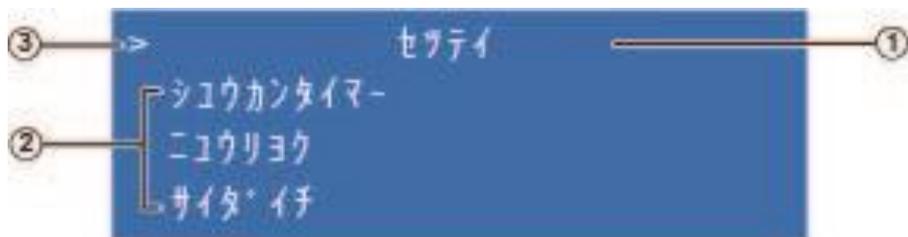


ゾーン情報とセッティング



- ① ゾーンナンバー
- ② 風量
- ③ 湿度制御モードの風量
- ④ 湿度制御モード用設定湿度
- ⑤ 湿度
- ⑥ 温度
- ⑦ 運転モードと持続時間表示(前項参照)

この画面は変更することはできません。



タッチキー(右)を三度押すことでこの画面に移行します。

- ① メインメニュー
- ② サブメニュー
- ③ 現在の矢印

セッテイでは下記の確認とセッティングが可能です。

- ・週間タイマー ・ディスプレイ ・運転モード ・湿度制御 ・フィルター交換時期表示
- ・風量 ・日付と時間 ・言語 ・累計稼働時間 ・初期化

各メニューはタッチキー(上下)で選択が可能です。

操作を実行する際は、矢印を指定した個所に持っていくタッチキー(右)を押して選択してください。

**週間タイマーのセッティング**

週間タイマーを設定することで、曜日ごとに時間を設定して運転モードを設定する事が可能です。

曜日設定 : 月曜日から日曜日

運転モード: 熱交換モード(HR) 換気モード(ナイトパージ) 就寝タイマー

風量 : 1-3、OFF

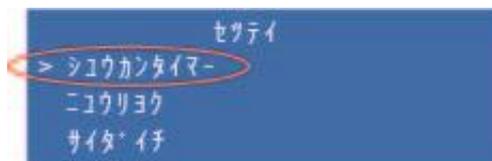
各曜日ごとに時間を設定してその時間のみ停止させて音の問題を軽減します。

就寝タイマー時はファンが停止しますので、熱交換換気は行いません。

使用については特に注意を払って行ってください。

週間タイマーのセッティング

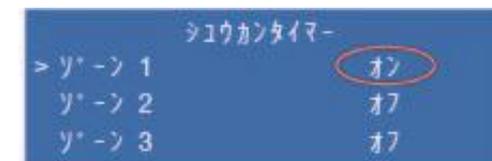
メインメニュー画面からタッチキー(下)を押してください。



右の赤丸に合わせてタッチキー(右)を押してください。



ゾーンごとに停止するのか、それとも風量の変更を行うのかを設定が可能です。



ON:ファン稼働

OFF:ファン停止

ONの場合、曜日と時間、風量を設定してください。



設定方法は矢印を各項目に合わせて

タッチキー(右)を押してください。

曜日変更、時間変更(2時間ごと)、風量、運転モードの設定が可能です。

## 週間タイマーの詳細設定 インターバル・曜日・運転モードの設定

### ・インターバル設定

週間タイマーの設定画面で  
矢印を右の赤丸の位置に設定してください。  
タッチキー(下)を押すと矢印は動きます。



矢印が赤丸の位置に来たらタッチキー(右)を押してください。

インターバルが点滅します。

点滅した状態でタッチキーの上下で時間を設定してください。  
設定可能な時間は午前0時から2時間ごとです。  
任意の時間に設定し、タッチキー(左)を押すと点滅が終了し設定完了です。

### ・曜日設定

週間タイマーの設定画面で  
矢印を右の赤丸の位置に設定してください。  
タッチキー(下)を押すと矢印は動きます。



矢印が赤丸の位置に来たらタッチキー(右)を押してください。

曜日が点滅します。

点滅した状態でタッチキーの上下で曜日を設定してください。  
任意の曜日に設定し、タッチキー(左)を押すと点滅が終了し設定完了です。

### 運転モードの設定

週間タイマーの設定画面で  
矢印を右の赤丸の位置に設定してください。  
タッチキー(下)を押すと矢印は動きます。



矢印が赤丸の位置に来たらタッチキー(右)を押してください。

運転モードが点滅します。

点滅した状態でタッチキーの上下で運転モードを設定してください。

任意の運転モードに設定し、タッチキー(左)を押すと点滅が終了し設定が完了です。

ネツ : 熱交換モード

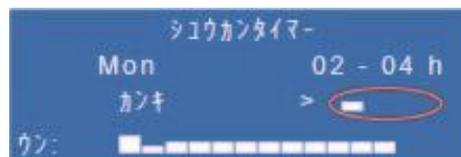
カンキ: 換気モード(ナイトパーシ)

## 風量の設定

週間タイマーの設定画面で

矢印を右の赤丸の位置に設定してください。

タッチキー(下)を押すと矢印は動きます。



矢印が赤丸の位置に来たらタッチキー(右)を押してください。

風量が点滅します。

点滅した状態でタッチキー上下で風量(三段階)を設定してください。上図風量は弱運転。

任意の風量に設定し、タッチキー(左)を押すと点滅が終了し設定が完了です。

## フィルターの清掃時期表示

フィルターの交換時期をお知らせすることが可能です。

任意の週で設定することで、フィルター清掃の目安としてください。

初期設定では 12週で設定されています。

**3か月に一度はフィルターの汚れ確認と清掃をお勧めします。**

メインメニュー画面からタッチキー(右)を

3度押してください。

設定画面に移行します。

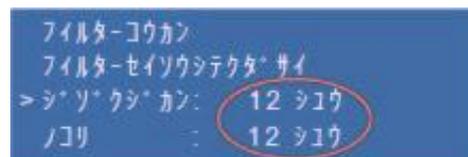


タッチキー(下)を押して矢印をフィルターコウカンに設定してください。

タッチキー(右)を押すことで、フィルターコウカンサブメニュー画面に移行します。

タッチキー(下)でジヅクジカンを選択し、

タッチキー(右)を押してください。



右図の赤丸部分が点滅します。

指定の週をタッチキー上下で選択してください。

以上で設定は完了です。

## フィルター清掃時期の点滅

前項で設定したフィルター清掃時期になるとメインメニュー画面にフィルター清掃のご案内が表示されます。

案内が出た場合、各換気扇のフィルターを確認し清掃してください。

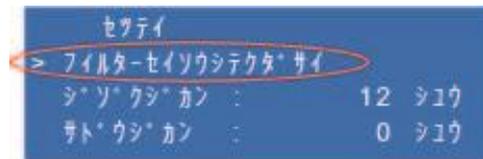
清掃方法はフィルター清掃方法という項目で確認してください。

### 表示のリセット

フィルター交換表示のリセット方法

★フィルターコウカンと画面に表示されたら★

フィルターを清掃し、タッチキー(どれでも可)を5秒間以上長押ししてください。



画面が切り替わった後に

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。設定画面に移行します。

タッチキー(下)でフィルターコウカンまで矢印を移動させ、

タッチキー(右)でフィルターコウカンを選択してください。

ジクジカンの下のサドウジカン表示はフィルター交換までの残週の表示です。

タッチキー(右)を押すとサドウジカン表示が変更されます。

## 言語設定

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。

設定画面に移行します。

タッチキー(下)でゲンゴまで矢印を移動させ、

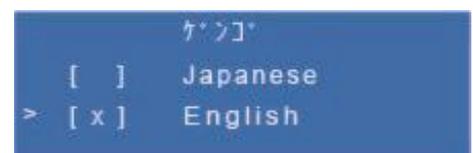
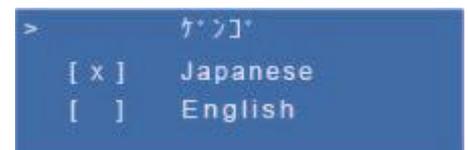
タッチキー(右)で選択してください。

画面が言語選択のサブメニューに変わります。

タッチキー(下)で使用する言語を選択してください

選択した言語には【×】と表示されます。

これで言語設定は完了です。



## 日時設定

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。  
設定画面に移行します。

タッチキー上下でヒヅケ&ジカンに矢印を移行させ、タッチキー(右)で選択してください。

赤丸の位置がヒヅケ&ジカンの設定です。



日時設定のサブメニュー画面に移行します。  
(右図参照)



## 日付の設定

タッチキー(下)で矢印をヒヅケに移行させて、タッチキー(右)で選択してください。

表示は左から、日、月、年の順に表示されます。



点滅している箇所が現在設定可能な箇所です。

タッチキー(上下)にて、日付を設定してください。

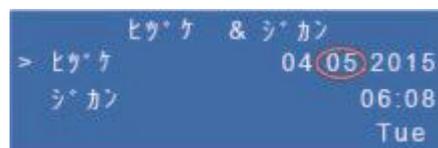


タッチキー(右)を押すと月に移行します。

タッチキー(上下)で日付と同様に月を設定し、

タッチキー(右)で年に移行します。

タッチキー(上下)で同様に年を設定します。



完了後、タッチキー(左)を三度押すと、

日時設定のサブメニューに戻り、

日付設定は完了です。



## 時間の設定

タッチキー(下)で矢印をジカンに移行させて、  
タッチキー(右)で選択してください。

表示は左から、時、分の順に表示されます。

点滅している箇所が現在設定可能な箇所です。



タッチキー(上下)にて、時刻を設定してください。

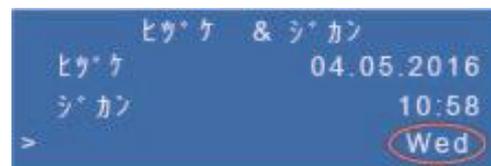
タッチキー(右)を押すと分に移行します。  
タッチキー(上下)で時と同様に分を設定します。



完了後、タッチキー(左)を二度押すと、  
日時設定のサブメニューに戻り、  
時刻設定は完了です。

## 曜日の設定

タッチキー(下)で矢印を移行させて、  
タッチキー(右)で選択してください。



点滅している状態でタッチキー(上下)にて、曜日を設定してください。

完了後、タッチキー(左)を一度押すと、  
日時設定のサブメニューに戻り、  
曜日設定は完了です。

## インプット設定

MZ-One は順次CO2センサー、VOCセンサーのオプション設置が可能になります。  
現在は設定出来ません。

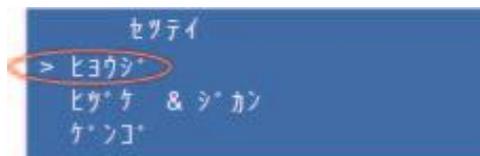


## 液晶ディスプレイの明るさと点灯時間設定

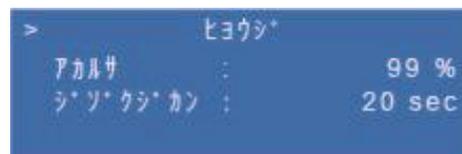
ディスプレイの明るさは 25%から 99%までの設定が可能です。  
点灯時間は最短 10 秒から 300 秒まで設定が可能です。

メインメニュー画面(初期画面)からタッチキー(右)を3度押してください。  
設定画面に移行します。

タッチキー(下)でヒヨウジに矢印を移行し  
タッチキー(右)で選択してください。

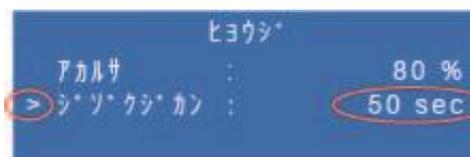
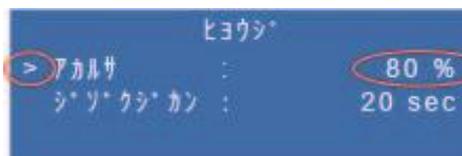


サブメニュー画面に移行します。  
タッチキー(下)で矢印を移行し、  
タッチキー(右)で選択してください。



アカルサ : 明るさ表示 (%)  
ジゾクジカン: 点灯時間設定 (秒)

選択すると表示が点滅します。  
タッチキー上下で明るさを調節してください。  
タッチキー(左)を押すと決定し、  
点滅は終了します。  
これで設定は完了です。



### 細かな風量調整

風量は最弱 25%から最大 100%まで 5%ごとに設定が可能です。

三段階の風量を細かく設定することが出来ます。

初期設定では三段階の設定は

弱 25%

中 50%

強 100%

に設定されています。



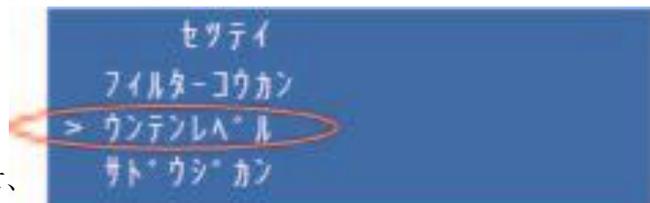
### 風量の設定方法

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。

設定画面に移行します。

タッチキー(下)で

右丸のウンテンレベルに矢印を移動させ、  
タッチキー(右)を押してください。



画面が風量設定のサブメニューに、  
移行します。

各段階の項目に矢印を移動させ、  
タッチキー(右)で選択します。



選択した項目が点滅します。

タッチキー上下で選択した項目の  
風量を調整してください。



風量は5%単位での調整です。

タッチキー(左)を押すと決定し、点滅を停止します。

以上で詳細な風量調整は完了です。

### 湿度制御モードの感知湿度設定と風量設定

ヴェントサンは湿度の上昇を感知すると、  
自動でファンの駆動を湿度制御モードに変更します。  
初期設定では湿度 80%を超えると風量 80%で湿度制御モードに移行します。

#### 湿度制御モードでの風量の設定方法

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。設定画面に移行します。  
タッチキー(下)でウンテンレベルに矢印を移動させ、タッチキー(右)を押してください。  
画面が風量設定のサブメニューに、移行します。

タッチキー(下)を4回押してください。  
シツに矢印を移動させ、  
タッチキー(右)で選択します。

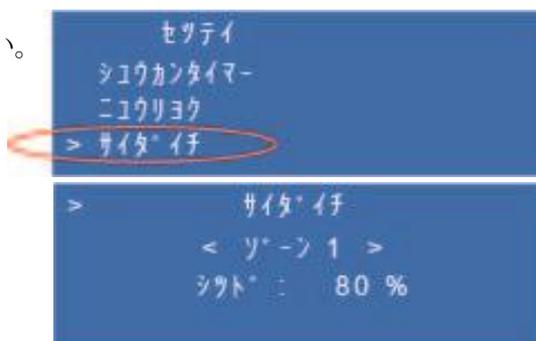


湿度制御モードの風量が点滅します。  
タッチキー上下で湿度制御モードの風量を調整してください。  
タッチキー(左)を押すことで湿度制御モードの風量設定は完了です。

#### 湿度制御モードの感応湿度設定方法

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。設定画面に移行します。

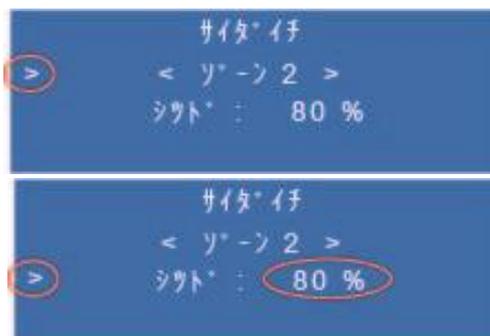
タッチキー(下)でサイダイチを選択してください。  
湿度感知のサブメニュー画面に移行します。



ゾーンごとの設定が可能です。  
タッチキー(下)で矢印を移動させて  
タッチキー(右)でゾーンを決定します。

感知湿度が点滅します。

タッチキー(上下)にて設定を変更してください。



設定が完了したらタッチキー(左)を押してください。

以上で設定は完了です。

### コントローラ情報

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。設定画面に移行します。

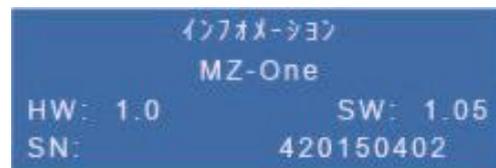
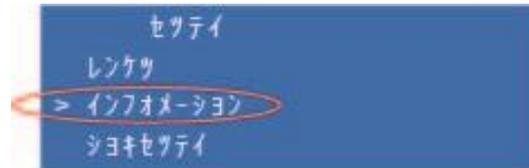
タッチキー(下)を押して、インフォメーションでタッチキー(右)を押してください。

ハードウェアバージョン:HW

ソフトウェアバージョン :SW

シリアルナンバー :SN

以上を確認することが可能です。

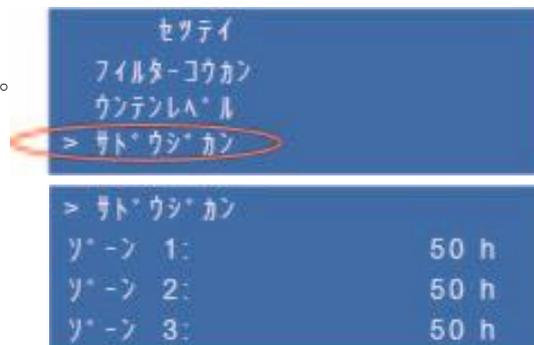


### 累計稼働時間

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。設定画面に移行します。

タッチキー(下)を押して、サドウジカンでタッチキー(右)を押してください。

ゾーンごとに累計稼働時間が表示されます。

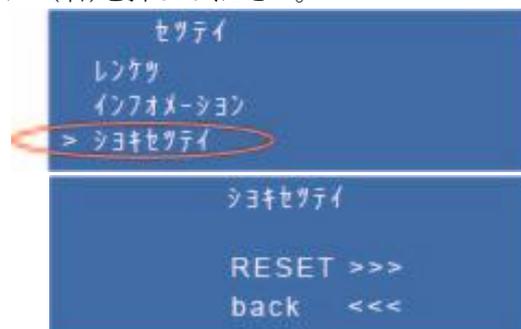


### 初期化

メインメニュー画面からタッチキー(右)を3度押してください。設定画面に移行します。

タッチキー(下)を押して、初期設定でタッチキー(右)を押してください。

RESETでタッチキー(右)を押すことで、  
コントローラを初期化することができます。



### 3. メンテナンス

ヴェントサンは専門工事店に頼らず、ご家庭で手軽にお手入れとフィルター交換ができます。適切にご使用いただくために、定期的にお手入れを行うことをお勧めします。

#### 4-1.安全上のご注意

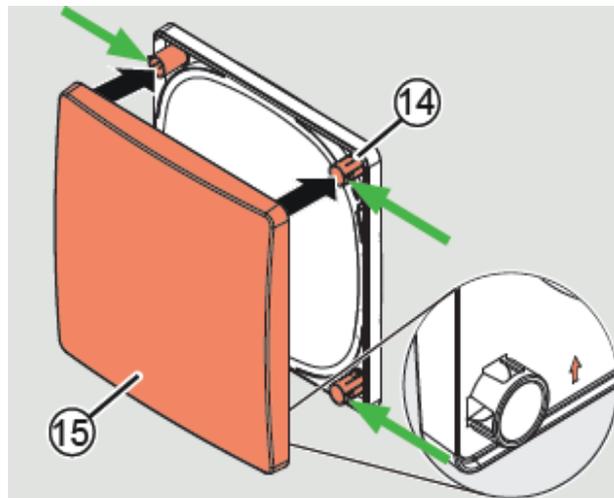
	<h2>警告</h2>
	<p>この項目は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れの際は必ず運転を停止し、分電盤ブレーカーを切ってください。感電・けがの原因となるおそれがあります。</li> </ul>

	<h2>注意</h2>
	<p>この項目は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れの際は手袋を着用してください。 手袋を着用しないとけがの原因となるおそれがあります。</li> <li>● お手入れの際は足元が不安定な台に乗らないでください。 転倒などによりけがの原因となるおそれがあります。</li> <li>● 蓄熱エレメントはセラミック製です。 割れやすいため、落とさないようご注意ください。</li> <li>● お手入れ後の部品の取付けは確実に行ってください。 落下によりけがの原因となるおそれがあります。</li> </ul>

3-2. インナーカバーの取り外し

A. カバーを外す

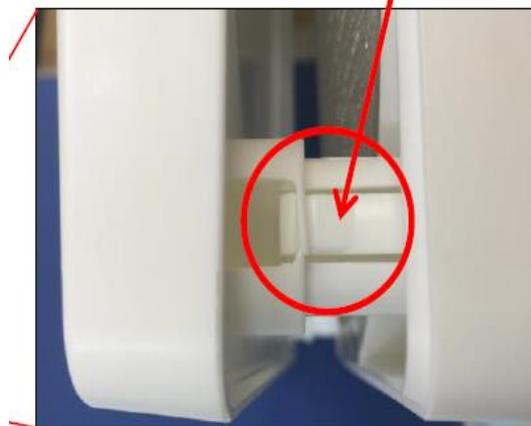
Flair  
iV-S の場合



取付時も同様に内側に  
押しながら取り付けてください。

突起部を押しながら外すことで容易  
に取り外しが可能です。

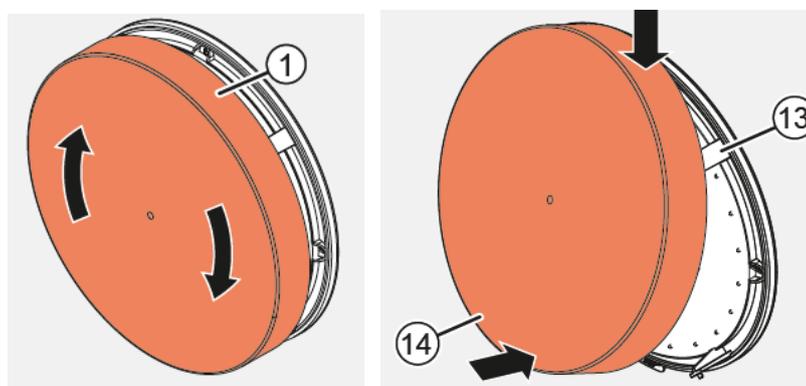
※容易に外れないように、  
突起にはツメがあります。  
無理に脱着すると、ツメが折れたり、  
破損の原因となります。



R298 の場合



カバーが開いた状態で、4か所の固定用ガイドを一か所ずつ、上画像のように押すことで取り外すことができます。



IBQ280 の場合

:

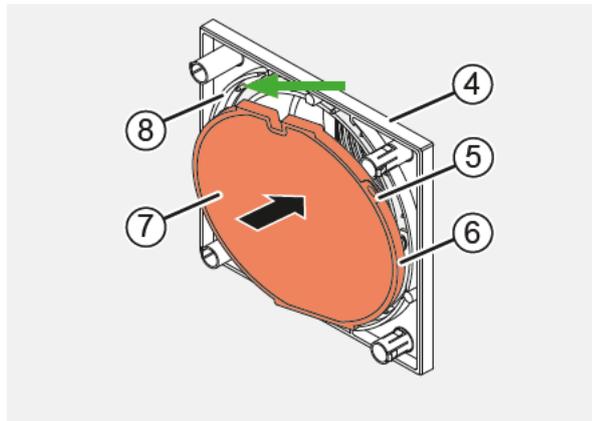
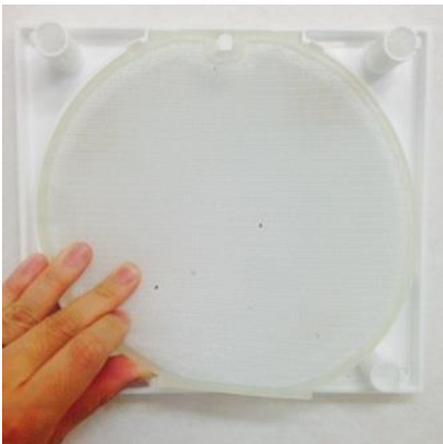
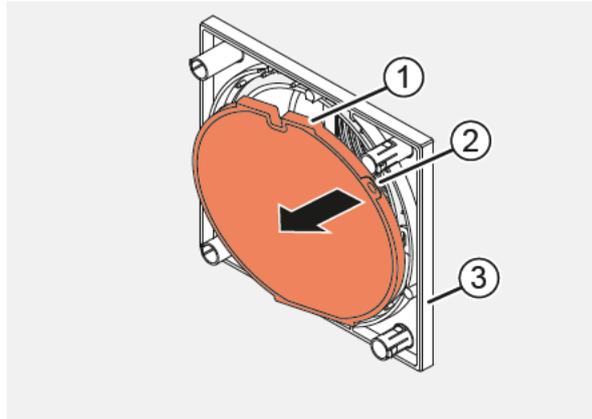
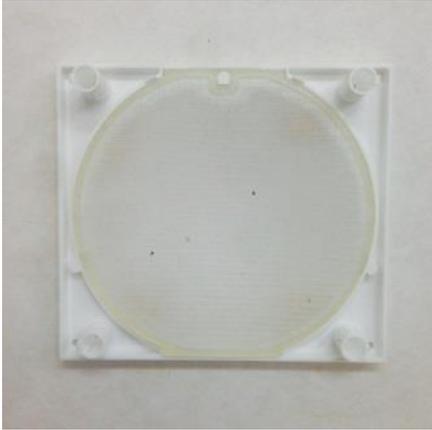


カバーは上下3か所の固定用ガイドで取り付けられています。R298と同様に固定用ガイドを押すことで取り外しが出来ます。VENTOsanの文字が正常に見える状態で給排気可能です。VENTOsanの文字を上下逆に見える状態ではめ込むと完全に閉まります。外部の音が気になったり台風の際など一時的に閉めるときにご利用ください。

## B. 標準フィルターを取り外す

標準フィルターは洗浄して、繰り返し使用できます。

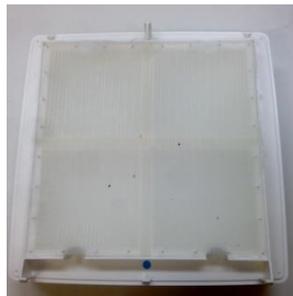
- ・ Flair iV-S の標準フィルターの外し方  
周囲のラバーを持ってフィルター固定突起から引っ張ります。



298 の標準フィルターの外し方  
フィルター固定突起から引っ張ります。

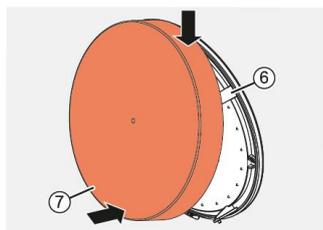
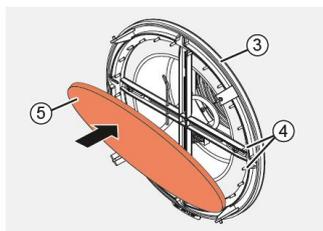
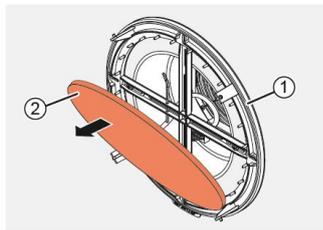


IBQ280 の標準フィルターの外し方  
フィルター固定突起から引っ張ります。



## C. 標準フィルターの取り付け

- R298・IBQ280: フィルター固定突起に標準フィルターを押さえながら固定します。



## D. 標準フィルターの洗い方

付着した埃を取り除いて(手で軽くたたき落とすか、掃除機で両面吸引するなど)から、水で薄めた中性洗剤を使い、標準フィルターの繊維を壊さないよう、やさしく手洗いしてください。

手洗い後は真水で洗剤をよく洗い流してください。

汚れが付着することがあるため、他の物と一緒に洗わないでください。

取り付ける前に標準フィルターを完全に乾かしてください。

## E. 取り換え時期

洗浄しても汚れが落ちない場合は、取り換え時期です。

標準フィルターはヴェントサン販売店にお申し付けいただくか、当社へ直接ご連絡をお願いいたします。

販売店および弊社の連絡先は巻末に記載しています。

### 3-3.換気ファンの取り外し

#### A. 換気ファンの取り外し

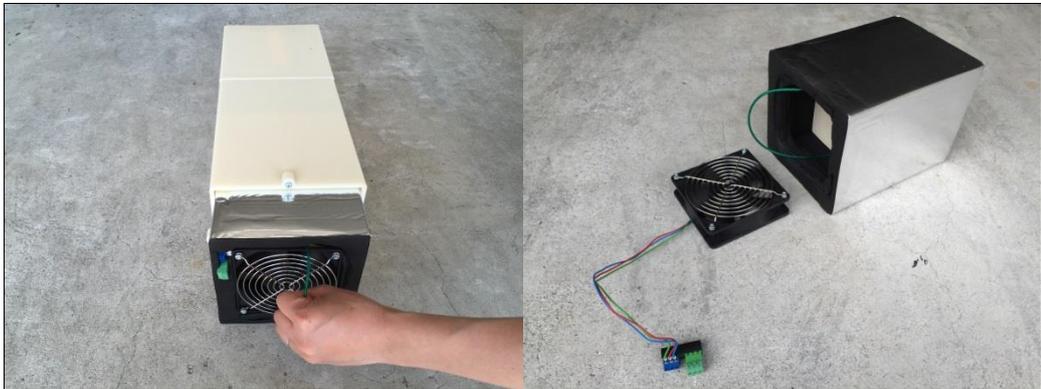
##### VENTOsanIV15

中央のシルバーの持ち手を持って引き抜きます。



##### VENTOsanIV14

IV14 は換気ファンと蓄熱エレメントが断熱材で包まれています。  
コネクターを外してファンだけを断熱材から外すことが可能です。



## B. ファンを取り外す前に

換気ファンを取り外す前に、**緑色のコネクタ接続の向きを必ず記録しておいてください。**

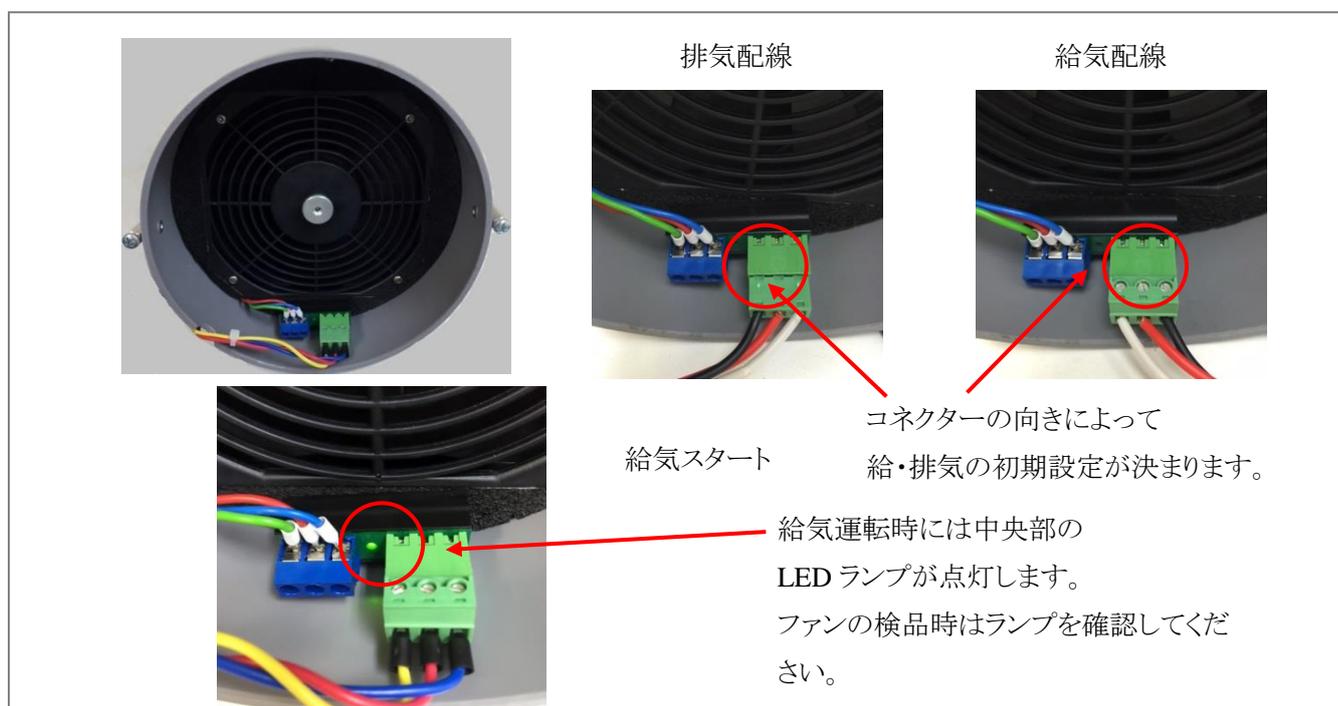
マジックなどで印をつけることをお勧めします。

クリーニング終了後、再度セットしなおす際には、必ず元の接続の向きにしてください。

両方のコネクタが同じ向きの場合 → 排気スタート

コネクタ逆向きの場合 → 給気スタート

### VENTOsanIV15



コネクタの向きは大変重要です。

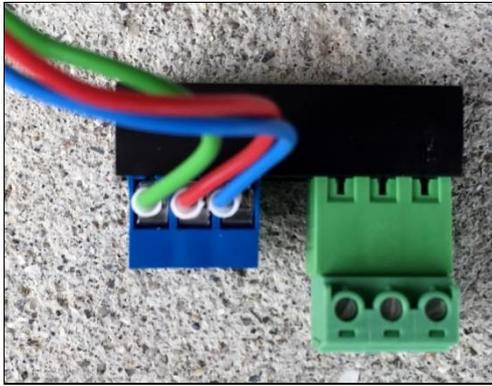
向きを間違えると正しく換気できない場合がありますので、必ず正しい向きでコネクタを接続してください。

コネクタの取り外しは緑色の部分を持って行ってください。

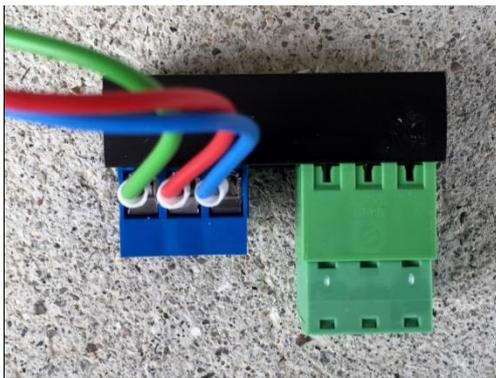
コード部分のみ持って取り外すと断線する可能性があります。

**VENTOsanIV14**

排気設定の場合



給気設定の場合



コネクタの向きは大変重要です。  
向きを間違えると正しく換気できない場合がありますので、必ず正しい向きでコネクタを  
接続してください。

### 3-4.換気ファンのクリーニング

換気ファンは、歯ブラシ等の柔らかいブラシでブラッシングし、湿った布でふいてください。

### 3-5.蓄熱エレメントのクリーニング

セラミック製蓄熱エレメントの汚れは、少なくとも年に1度のペースで確認してください。

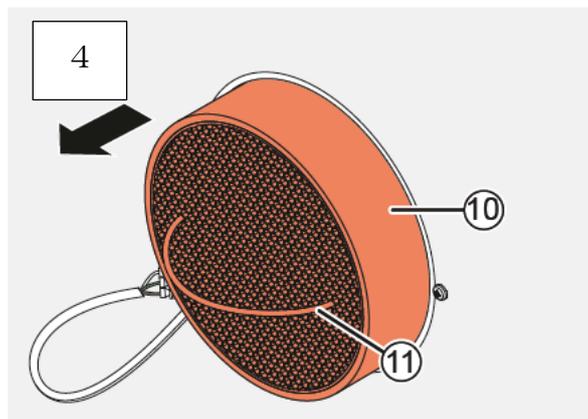
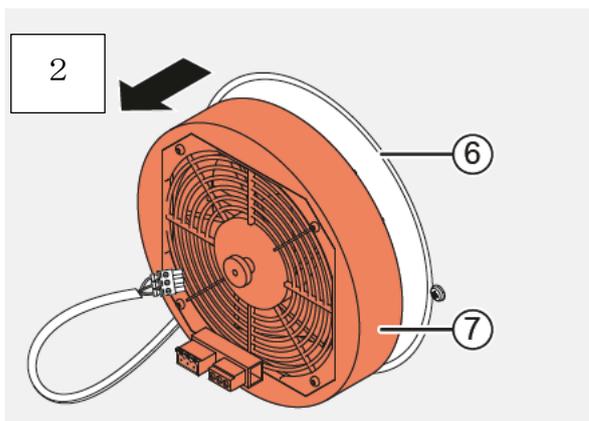
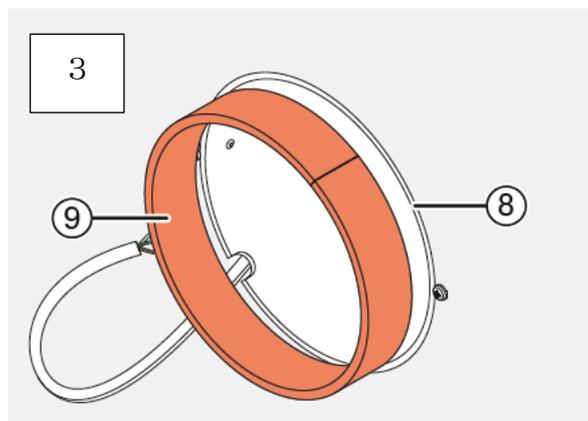
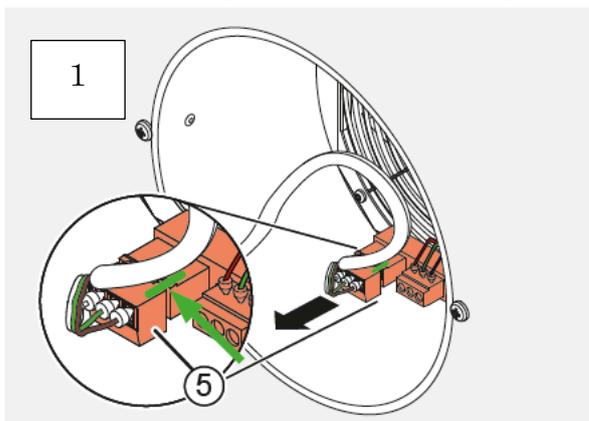
蓄熱エレメントの中の埃は掃除機で吸い込んでください。それでも取り除くことができない場合は、バケツ(ぬるま湯可)の中で洗ってください。

クリーニング後は、蓄熱エレメントを十分に乾燥させてから再度セットしてください。

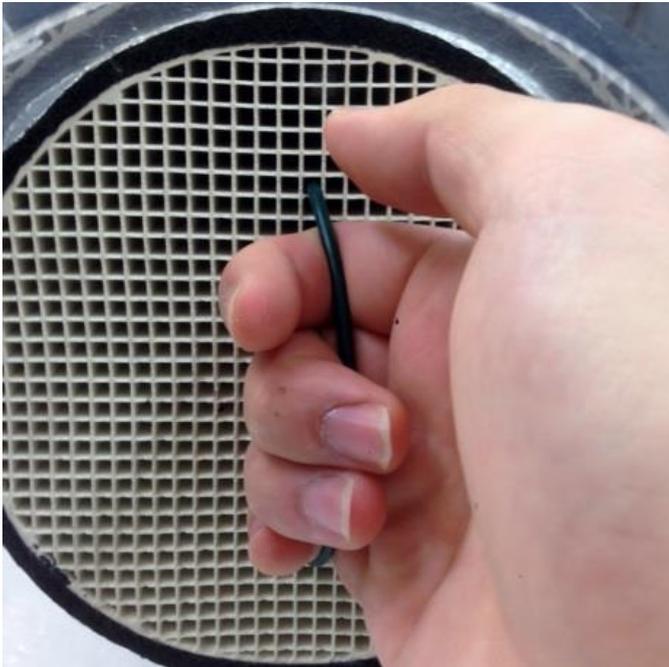
特に寒冷地においては、水分が残っていると凍結や結露の原因となりますのでご注意ください。

#### A. 蓄熱エレメントのクリーニング手順

1. コントローラの電源を切り、換気用の電源ブレーカーを落とす。
2. 室内換気レジスターのカバーを取り外し、フィルターを外す。
3. 下図⑤の配線ケーブルのコネクターを外し、⑦換気ファンをスリーブから抜き出す。  
※その際コネクター接続の向きを覚えておくか、マジックなどで印をつけておいてください。
4. 下図⑨スペーサーパッキンをはずす。(VENTOsanIV15のみ)
5. 下図⑪ワイヤーを持ち、下図⑩蓄熱エレメントを外す。重いので注意してください。



- ① 蓄熱エレメントについている緑色のワイヤーを引っ張り、スリーブから抜き出してください。



IV14 はファンと蓄熱エレメントが一体になっている為、  
コネクターを外した後は緑のワイヤーを持って引き抜いてください。(上写真参照)

- ② 掃除機などでエアブロー、ブラッシング、水洗いをし、汚れを落とします。  
③ 蓄熱エレメントを設置する前にスリーブの内部を拭いてください。  
④ 換気ファンの羽を柔らかい布や歯ブラシなどの小さなブラシで拭いてください。

### 3-6. クリーニング後の組み立て

#### VENTOsaIV15

組み立てるときは、取り外したときの逆にセットしていきます。

- ① 蓄熱エレメントを挿入します。  
(緑色のコネクター部分は必ず室内側に、次回も引き抜けるようにしてください。)
- ② スペーサーパッキンをスリーブ管に円筒状にして挿入します。



- ③ 換気ファンを挿入します。



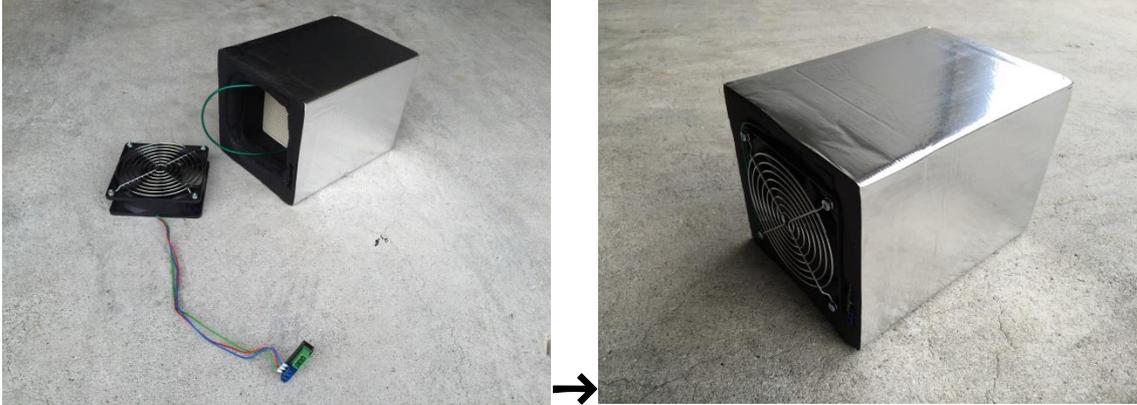
- ④ コネクターをもとの状態(コネクターの向きに注意してください。)でつなぎます。



- ⑤ 標準フィルターをセットし、室内換気レジスターのカバーをはめます。

VENTOsanIV14

- ① 組み立てる際は蓄熱エレメントの断熱材にファンを先に入れてください。
- ② ファンの前に緑のケーブルを出しておいてください。(出し入れがしやすくなります。)



- ③ スリーブに蓄熱エレメントを挿入してください。



- ④ コネクターをもとの状態(コネクターの向きに注意してください。)でつなぎます。



- ⑤ 標準フィルターをセットし、室内レジスターを取り付けてください。

## アフターサービス

「VENTOsan®」ヴェントサンは、物件のお引渡し日より1年間の製品保証がついています。保証条件がすべて満たされている場合には、製造もしくは設計に起因すると判明した材質不良もしくは機能不良について無償にて修理・交換させていただきます。ただし、当社による現地での取付工事や返金はいたしかねますのでご了承ください。

### 5-1.保証要件について

保証書は、お買い上げ時に販売店側で必要事項を記入する必要があります。保証サービスはエディフィス省エネテック株式会社の認定販売業者以外は提供できません。意図された用途以外での使用、不適切な取り扱い、通常の摩耗、保守修理作業の不備および不良、不適切な使用、許可されない者による操作等に起因する損傷については一切責任を負いません。

## 4. 「故障かな!？」と思ったら

- ① 修理を依頼される前に、まず一度電源を切り、60秒後に再度入れ直してください。
- ② コネクターが正常につながれているか確認ください。
- ③ ケーブルが適切に接続されているか確認ください。

状態が変わらないようであれば、販売店へお問い合わせください。

お問い合わせの際に下記を販売店へお知らせください。

1. 製品名
2. 品番
3. お買い上げ日      年   月   日
4. 故障の状況(できるだけ具体的に)
  - ・スイッチを入れても、換気ファンが回らない。
  - ・換気ファンは回るが、コントローラのスイッチが動かない。
  - ・セラミック蓄熱エレメントを破損してしまった。など

## 5. 製品仕様

iV15 with MZ-One	
電圧	100V、50～60Hz
消費電力(W)	最大 3W
定格風量(m <sup>3</sup> /h) 数値は機外静圧状態	弱 20
	中 36
	強 50
換気量(m <sup>3</sup> /h)	弱 10
	中 18
	強 25
熱交換効率(%) (外部温度+4℃、室内温度±21℃の場合)	弱 88%
	中 83%
	強 76%
騒音(dB)	弱 19db
	中 28db
	強 38db
運転電圧(システムコントローラ内)	18 - 22 V AC
換気ファン回転数	16段階 25%～100%
換気ファンの最大運転電圧	17 V 直流
連続運転による最大負荷電流	1 A
電流の短期最大負荷	2 A (10 ms)
変圧効率	出力電圧と負荷に応じて86%～97%
電源供給(変圧器)	100 V, 50～60 Hz,max. 65 W, 保護分離

温湿度センサー	
温度測定範囲	0°C - 60°C
温度の分解能	0.1°C
温度の測定誤差	±2°C
相対湿度測定範囲	10% - 99%
湿度の分解能	1%
30% - 90%で運転中の測定誤差	±3%







日本 総販 売代 理店	 <p><b>エディフィス省エネテック株式会社</b></p> <p>〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-32-3 三鷹産業プラザアネックス</p> <p>TEL: 0422-26-6922                      FAX: 03-6740-1943</p> <p>E-Mail: contact@edfs.co.jp              <a href="http://edfs.co.jp/">http://edfs.co.jp/</a></p>
販売 店	